

日本全国の海水浴場における利用者数の推移に関する研究 Study on the increase and decrease trend of the number of users at beaches in Japan

○船山孝之¹, 菅原遼², 畔柳昭雄²

*Takayuki Funayama¹, Ryo Sugahara², Akio Kuroyanagi²

Abstract: In Japan, sea bathing has been adopted since ancient times as one of the folk remedies. While the beach has changed to a place for peoples entertainment, efforts have been sought from the decrease in the number of users nationwide. Therefore, the purpose of this study is to grasp the trend of the number of users at beaches and their characteristics. As a result, as a result of the survey, the number of beach users has been decreasing in recent years, while an increasing trend has been seen in the Tohoku and Kyushu regions where they are working.

1. はじめに

わが国では民間療法として海水浴が普及し、それに伴い、海水浴場が全国に開設され、その後は人々の娯楽の場へと変化した。今日では遊泳や余暇活動の場として親しまれている。しかし、近年の海水浴場利用者数の推移をみると、余暇の多様化や海水浴に対する認識の変化に伴い 1985 年以降は減少傾向を示している。こうした状況の中、全国の海水浴場では、海水浴客の誘致に向けた多様な取り組みを展開し、新たな集客を実施してきている。

そこで本稿では、海水浴場の利用者増加に向けた施策検討の基礎調査として、全国の海水浴場を対象に、利用者数の推移と傾向を把握することを目的とする。

2. 調査概要

Table1 に調査概要を示す。本調査は、環境省発行の「水浴場の水質調査」^[1]に基づき、2015 年度～2018 年度における海水浴場利用者数の推移を捉えた 655 ケ所を対象に、海水浴場利用者数の動向を整理した。次いで WEB 調査に基づき、利用者数の増加がみられた海水浴場の近年の取り組みを整理した。

3. 調査結果

3-1. 全国の海水浴場利用者数の傾向

Fig.1 に全国 8 地域の海水浴利用者数の推移を示す。海水浴場利用者は、関東地方、中部地方、近畿地方の 3 地方が全国の約 7 割を占めていることが分かる。また、全国的に 2016 年度以降減少傾向にあることがわかる。

Fig.2 に海水浴場利用者の前年度との増減率の推移を示す。これをみると、2016 年度に増加傾向を示す海水浴場が 278 ケ所確認できた。しかし、2017 年度は 376 ケ所、2018 年度では 283 ケ所において減少傾向を示し

Table1. Survey Summary

調査対象地	北海道地方：8 ケ所 関東地方：109 ケ所 近畿地方：110 ケ所 九州地方：102 ケ所	東北地方：50 ケ所 中部地方：159 ケ所 四国地方：41 ケ所
調査資料	「水浴場の水質調査 (2015 ～ 2018 年)」	
調査方法	水域区分が海域となる海水浴場を抽出	
調査期間	WEB 調査から利用客数の動向を把握 2019 年 4 月～8 月	

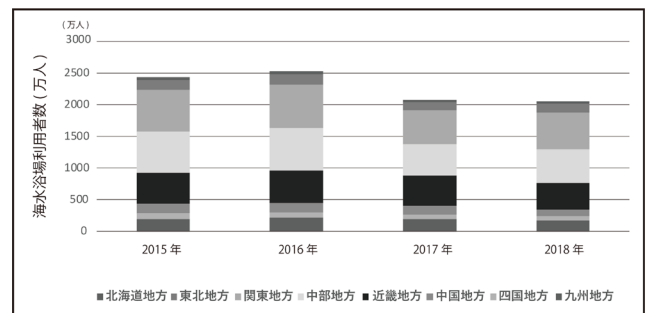


Figure1. Tendency of the sea bathing ridership

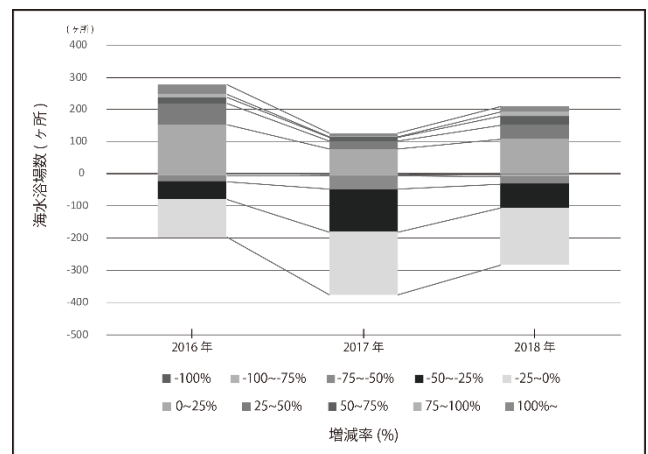


Figure2. Tendency to Increase and decrease rate

ており、依然として海水浴客の減少傾向が見られ、総じて「海離れ」が生じていることが分かる。

Fig.3 に 2015 年度～2018 年度における利用者の増加・減少傾向の海水浴場の都道府県別分布図を示す。

1 : 日大理工・学部・海建 2 : 日大理工・教員・海建

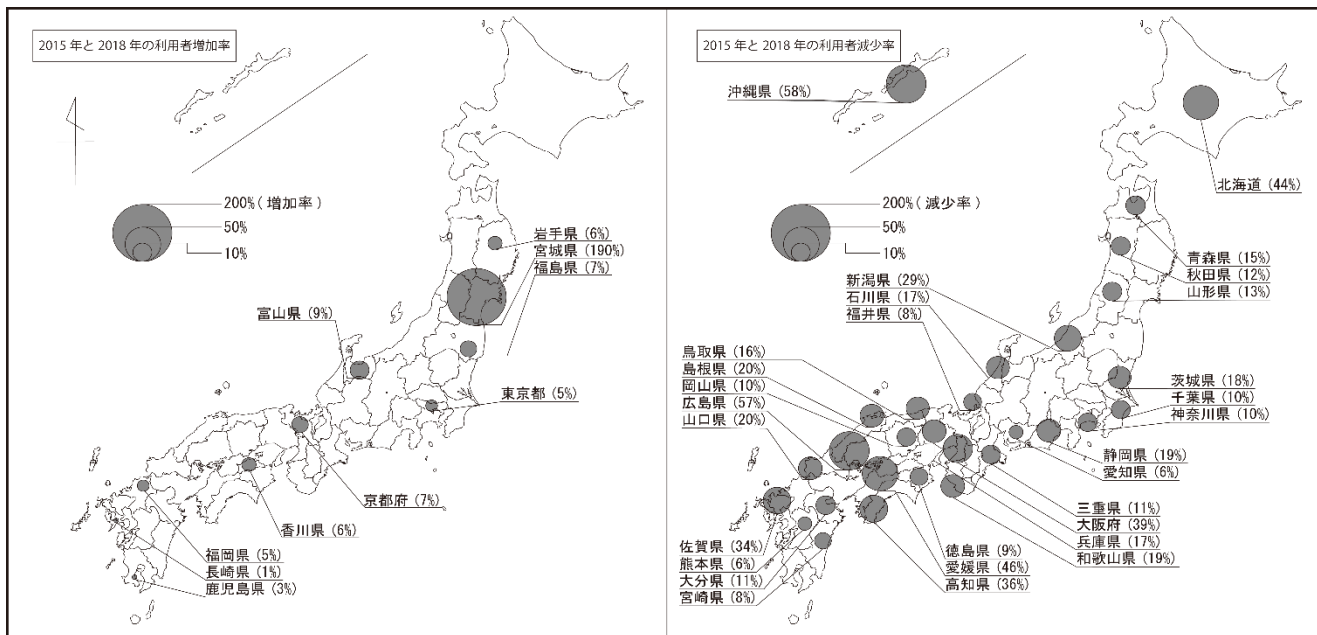


Figure3. A growth rate(left figure) and a decline rate(right figure)

Table2. Details of the beach of the tendency to increase

都道府県	所在地	海水浴場名	市区町村	水域名	交通	水質*				利用者数(万人)				前年との増減比(%)			海水浴場の取り組みおよび特徴
						2015年	2016年	2017年	2018年	2015年	2016年	2017年	2018年	2015-16年	2016-17年	2017-18年	
宮城県	菖蒲田	七ヶ浜町	仙台湾	JR多賀城駅下車 バス20分	B	B	AA	B	0.9	3.2	5	7.8	255.56	56.52	56.00	パラグライダー、花火大会の開催	
神奈川県	和田	三浦市	相模湾	京急三崎口駅下車 バス10分	AA	B	AA	AA	2.7	3.5	4.4	4.7	29.63	25.71	6.82	「ブルーフラッグ」認証の取得	
富山県	宮崎・境海岸	朝日町	富山湾	JR越中宮崎駅下車 徒歩3分	AA	AA	AA	AA	6.3	7.3	8.7	11.5	15.87	19.18	32.18	翡翠の採取	
石川県	千里浜	羽咋市	能登半島 沿岸	JR羽咋駅下車 徒歩20分	AA	AA	AA	A	5.7	5.8	6.1	7.1	1.75	5.17	16.39	日本で唯一、浜辺での走行を可能とした 貝獲りの実施	
静岡県	小土肥	伊豆市	駿河湾	伊豆箱根鉄道修善寺駅 下車バス50分 土肥漁協下車徒歩13分	AA	AA	AA	AA	1	1.1	1.21	1.3	10.00	9.09	25.00	魚類との遊泳	
兵庫県	岩屋	淡路市	淡路島 沿岸	播淡汽船岩屋港 から徒歩5分	A	AA	AA	AA	0.9	1.2	1.21	1.3	33.33	0.83	7.44	マリンスポーツの実施	
長崎県	蛤浜	新上五島町	五島海城	有川港から バスで5分	AA	A	AA	AA	1.2	1.4	1.6	2.3	16.67	14.29	43.75	イベントとして地引網、海上綱引きを開催	
熊本県	鶴ヶ浜	芦北町	八代海	肥前おれんじ鉄道佐敷駅 から車で10分	AA	B	AA	A	1.6	1.7	1.8	2	6.25	5.88	11.11	海水浴場を公園と隣接し レジャー機能を付加	
大分県	糸ヶ浜	日出町	別府湾	日豊本線日出駅 から車で17分	AA	未計測	AA	AA	2.7	2.8	2.9	3.5	3.70	3.57	20.69	海水浴場を公園内に設置し キャンプ場を併設	

*「水質A」または「水質A」となった水浴場を「適」、「水質B」または「水質C」となった水浴場を「可」とする。

これを見ると海水浴場の立地する 39 都道府県の内、増加傾向を示す海水浴場は 10 都府県確認でき、東北地方と九州地方に多く分布していることが分かる。特に宮城県では 3 年間継続しての利用者の増加が見られ、震災後県内初となる菖蒲田海水浴場での海開きに対する利用者増加が影響していると考えられる。また、減少傾向が見られた海水浴場は 29 県確認でき、中でも 7 道県で、3 年間連続しての利用者の減少が見られた。

3-2. 利用者の増加傾向がみられる海水浴場の特徴

Table 2 に 3 年間連続して増加傾向が見られた海水浴場 10ヶ所の概要を示す。その立地分布を見ると、九州地方が 3ヶ所と最多であった。水質は 2018 年には 8ヶ所が水質 A 以上の評価を受けていた。

海水浴場ごとの集客のための多様な取り組みを見ると、利用者が増加傾向を示す海水浴場では、集客を意図して地域資源を活かした各種イベントを実施しており、海水浴場に公園施設を併設される取り組みも見られた。

こうしたことから、海水浴場利用者の誘致活動として、砂浜や海を活かした地域特有の体験イベントの実施やレジャー施設の拡充を図ることにより、海水浴場の利用者の増加に寄与することが考えられる。

4. おわりに

本稿では、全国の海水浴場の利用者数の推移と増減傾向の特徴を把握した。その結果、都道府県別に見ると、東北地方や九州地方における利用者数の増加傾向を確認でき、海水浴場ごとの利用者数の増減傾向を整理すると、2015 年度～2018 年度において海水浴場 10ヶ所において継続的な増加が見られた。こうした海水浴場では、いずれも地域資源を活かした各種取り組みが展開されていた。

5. 参考文献

[1] 環境省：「水浴場の水質調査結果」, 2015-2018